

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”
 ～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	「体験の風をおこそう」運動推進事業 令和5年度 福岡教育事務所管内 「地域活動指導員・子どもの体験活動研修会」													
期 日	令和5年7月13日（木） 13：30～16：45（受付13：15～）													
参加者	31名													
日 程	<table><tr><th>時 間</th><th>内 容</th></tr><tr><td>13：15 13：30 13：35</td><td>【受 付】 【開会行事】</td></tr><tr><td>13：45</td><td>【説 明】「本研修会のねらいについて」 福岡教育事務所 社会教育室 社会教育主事 吉川 しのぶ</td></tr><tr><td>15：00 15：10</td><td>【話題提供】「実例から学ぶ～地域住民が主役になり、 主体的に参画したくなる法則～」 講師 津屋崎ブランチLLP 代表 山口 覚 氏</td></tr><tr><td>16：40</td><td>【休 憩】 【演 習】「法則を活用した新しい事業企画づくり」 講師 津屋崎ブランチLLP 代表 山口 覚 氏</td></tr><tr><td></td><td>【閉 会】</td></tr></table>		時 間	内 容	13：15 13：30 13：35	【受 付】 【開会行事】	13：45	【説 明】「本研修会のねらいについて」 福岡教育事務所 社会教育室 社会教育主事 吉川 しのぶ	15：00 15：10	【話題提供】「実例から学ぶ～地域住民が主役になり、 主体的に参画したくなる法則～」 講師 津屋崎ブランチLLP 代表 山口 覚 氏	16：40	【休 憩】 【演 習】「法則を活用した新しい事業企画づくり」 講師 津屋崎ブランチLLP 代表 山口 覚 氏		【閉 会】
時 間	内 容													
13：15 13：30 13：35	【受 付】 【開会行事】													
13：45	【説 明】「本研修会のねらいについて」 福岡教育事務所 社会教育室 社会教育主事 吉川 しのぶ													
15：00 15：10	【話題提供】「実例から学ぶ～地域住民が主役になり、 主体的に参画したくなる法則～」 講師 津屋崎ブランチLLP 代表 山口 覚 氏													
16：40	【休 憩】 【演 習】「法則を活用した新しい事業企画づくり」 講師 津屋崎ブランチLLP 代表 山口 覚 氏													
	【閉 会】													
活動の実際	【話題提供】 津屋崎ブランチLLP代表の山口覚氏より、ご自身の実践をもとに「実例から学ぶ～地域住民が主役になり、主体的に参画したくなる法則～」と題して話題提供いただきました。 山口氏は、「様々なイベントやプロジェクトを行っていく中で、どんなにその内容がよくてもそのプロセスの会議や話合いの仕方によっては意見を出しても聞いてもらえない、結局はだれかの一声で決まってしまうなど、おもしろくなくなってしまう。だ													



【山口氏による話題提供の様子】



【山口氏による話題提供の様子】

	からこそ、対話が大切である。」とおっしゃっていました。また、「一つの話に対して何を感じたかが一人ひとり違うことに価値がある。それを共有することで、発見や共感につながったり、なるほどと思えることになったりする。」ということに参加者に伝えられたのち、話題提供をされました。参加者は実際にそれを体感しながら話を聴くことができました。 〈参加者のアンケート〉 ・対話は大切という概念はあったが、具体的にイメージがついていなかったため、勉強になりました。言葉（話合い、対話）のもつ力、影響力に考えさせられました。 ・子どもを中心に据えて、大人をどう巻き込んでいくか、どうつながりをつくっていくのかがわかりました。 【演習】 山口氏に「法則を活用した新しい事業企画づくり」と題して演習を行っていただきました。まず、山口氏の話提供から得たヒントをもとに、大人も子どももワクワクする企画になる法則に参加者どうしで出し合いました。 『大人も子どももワクワクする企画になる法則って？』 ・ちょっとのハテナがあるといい ・非日常体験 ・中身がすける、でも秘密感がある ・食べものの必要 ・ネーミング ・土産がある ・行きやすい場所、時間 ・やる側も楽しむ ・自由度が高い ・見栄えがいい  【参加者どうしでの対話の様子】 その後、考えたい企画に参加者から出してもらい、8つのグループに分かれて協議しました。協議したのち、それぞれの企画案について発表していただきました。 『それぞれの企画案（タイトル）』 ・秋まつりで e-sports—フットナイト— ・ここが変だよ糸島人 (外国の人とボーダーフリーでつながるために) ・みんな集まれ ・リニューアル土曜勉強会 ・子ども店長 小さな縁日 ・段ボールコースター ・ボードゲームでパワーチャージ ・みんなの居場所  【企画案発表の様子】 〈参加者のアンケート〉 ・たくさんの方との対話の中で、同じ悩みを共有したり、違った視点を学んだりすることができ、有意義な時間でした。 ・どのグループも素晴らしいアイデアが出ていて、対話することの大切さを実感することができました。
全体を とおして	参加者のアンケートでは、「とてもワクワクする時間を過ごすことができました。」「討論ではなく、対話ができる環境をつくったり、対話になるようなファシリテーターをめざしたりして、がんばっていきたいです。」「対話カフェのようなものを地域の子どもやPTAでやりたいと思います。」などの感想があり、それぞれの参加者が今後の取組のヒントを得ることができたのではないかと考えます。 福岡教育事務所社会教育室といたしましても、この研修会で学んで終わりではなく、参加者に学んだことを一つでも実践していただけるように引き続き支援を行っていきたいと思います。